

2025年4月16日

日本鉄道労働組合連合会

もりやたかし（森屋隆）参議院議員

J R 二 島 貨 物 会 社 の 経 営 自 立 ・ 鉄 道 の 人 財 不 足 に 係 る 質 疑 を 展 開



J R 連 合 「21 世 紀 の 鉄 道 を 考 え る 議 員 フ ォ
ー ラ ム」 所 属 の も り や 参 議 院 議 員 は 3 月 24 日
の 国 土 交 通 委 員 会 で、 北 海 道 新 幹 線 関 係 の 質
疑 に 続 き、 J R 二 島 貨 物 会 社 の 経 営 自 立 ・ 鉄
道 の 人 財 不 足 に 係 る 質 疑 を 展 開 し た。

もりや議員はまず、北海道新幹線の札幌開業
が大幅に遅れる中、道内地域交通のあり方について、これまでの“2030年度札幌開業”を前提としたJR北海道と沿線自治体の議論が成立しなくなるとの懸念を示し、方向性を見出すことに国もより関与すべきと指摘。中野洋昌国土交通大臣は、JR北海道の大きな経営課題である黄線区（単独維持困難線区）について、「2026年度末までに抜本的な改善方策を確実にとりまとめるよう求めている」と改めて説明の上、「地域の議論に国も積極的に参画し、地域の取組を後押ししたい」と答弁した。

中野大臣「アボールの改訂は過去経緯を踏まえた検討が必要」

続けてもりや議員は、「線路使用料」に係るJR貨物 - JR
旅客の会社間協定（アポイダブル・コストルール）の改訂期が
2026年度末に迫っていることを取り上げ、双方の考え方の溝が
深いこと、夜間保守に係る課題があるため「国も関与して課題
を解決しない限り、貨物鉄道輸送は今後伸びない」旨を指摘。
これに対し中野大臣は「国鉄改革の際に枠組みが整えられた経
緯を十分に踏まえた上での検討が必要」との答弁に留めた。

もりや議員、工務系統において顕著な人財不足があると指摘！

さらにもりや議員は、防衛省とJR7社の退職自衛官の再就
職に係る連携強化の報道等を取り上げ、鉄道業界では技術職で
ある工務系統の人財不足が顕著であり、官民の適切な連携の下
で技術者を育てていく必要があると指摘。中野大臣は、「鉄道
業界はいずれの部門も人手不足に直面している」との認識を示
し、地域の鉄道事業者のメンテナンス体制支援といった施策を
含め、人手不足解消に様々な角度から取り組む決意を語った。